

九千部学園とは

佐賀県立九千部学園は、知的障害（あるいは発達障害）を持った15歳以上の方々が対象で、生活コースから始めて概ね3年間、宿舎で共同生活を送りながら、施設内での様々な訓練（生活訓練、職業訓練）を積むことにより、生活能力並びに作業能力を高めていきます。

2年目（就労基礎コース）からは、訓練と併せて、学園から通える距離にある事業所（製造関係、サービス業、福祉介護分野等）の御協力を得て、2週間程度企業内で働く経験を積む「職場体験実習」を行います。

園生ごとに、実習によって明らかになった就労に向けた課題を確認し、その後の施設内訓練でのカイゼンに取り組みます。

3年目（就労実践コース）に入ると、障害者の雇用を予定している企業と調整のうえ、1か月単位で実際に就労し、雇用を前提として評価してもらう「職場実習」へと進みます。

作業能力のほか、体力（持続性）、態度・マナーなど、企業が求める能力に達しているかどうか評価され、認められれば、卒園後この企業で実際に就労することができます。（もちろん、その企業で働くかどうかは本人の希望を尊重します）

また、卒園した後も、学園職員は園生とコンタクトを持ち、就労後に抱えている問題等がある場合には、就労先事業所や他の支援機関等と連携しながら、解決のための支援にも努めており、卒園生が希望する場合は「就労定着支援」の契約を結び、定期的にサポートします。

当学園の目標は「知的障害を持った方々が就労し、長く働き続けること」であり、そのため、学園内での生活・訓練を通して、5S（整理・整頓・清掃・清潔・しつけ）が実践できるような習慣を身につけるとともに、企業が求める「品質」「コスト」「納期」に貢献できるよう作業能力を向上させることを目指して取り組んでいます。

また、「あいさつや返事ははっきり」「わからないことはすぐに聞くこと」など、企業側から特に求められる点については、園生に繰り返しその重要性を説き、意識して行動するよう促しています。

九千部学園で訓練を受けた卒園生は、これまでに1,200名以上。県内の様々な事業所で活躍されています。